日本大学 農獸醫學部 校友會々報

発行所
日本大学農獣医学部
校友会
編集発行者
会報発行委員会
印刷所
東京理工KK

昭和53年度学部校友会

総会と懇親会を開催

日本大学農獣医学部校友会総会は、去る七月十五日（土）住友ビル内「新宿コックドール」において会員多数出席のもとに開催されました。佐藤弘一会長挨拶のあと、鹿野忠副会長を議長に選出し、議事に入りました。

総会議題は、一、昭和五十二年度事業報告、二、昭和五十二年度決算報告、三、昭和五十三年度予算案審議、四、役員選出に関する件、五、会則一部削除変更に関する件、六、日本大学校友評議員、協議員候補選出に関する件、七、その他でした。

第一号議案については、石井事務局長より、事業関係、会議会合関係、学部情勢に分けて報告されました。そのなかで、会員数が二六四八六名に達したこと、大阪支部が承認されたこと、農獣医学部校友会三十周年記念事業検討委員会が五十三年度より始動することおよび理事会の活動状況が報告されました。第二号議案は月瀬会計担当の報告と山根勝次監事より監査結果報告を受けたのち承認されました。第三号議案は活発な審議ののち、承認されました。第四号議案は、まず、各分会選出の新理事承認のあと、役員選出に入り、会長に佐藤弘一氏、副会長に西鳥羽曙氏、鹿野忠氏、白山厳氏、監事に山根勝治氏、戸崎紘一氏、坂野忍氏を選出しました。第五号議案については、西鳥羽副会長より、選考委員会および理事会での審議報告がなされ、理事会推薦候補者が承認されました。（候補者名は別掲）。第七号議案のその他では、校友会三十周年記念事業に関する件について、佐藤会長、石井事務局長より経過報告されました。また、大熊俊一農獣医学部学部長より、日本大学創立九十周年および農獣医学部三十周年記念事業に関する経過報告を受けました。

最後に、新役員が紹介され、総会終了後、六時より小堀進学部長をはじめ本部校友会および多数の校友出席のもと、なごやかな懇親会に移り、八時に散会しました。

会長に佐藤弘一氏

校友会の役員決まる

七月十五日（土）新宿コックドールにて理事会開催、主な議題として日本大学校友評議員・協議員候補者の選出、本部校友会常任委員・委員の選出、校友会会長・副会長選考、その他各委員会委員の委嘱につき審議決定した。

役員

昭和五十二年度をもって任期満了につき役員の選出を行い、次の方を決定した。任期は三年。

農獣医学部校友会々長　佐藤　弘一
同副会長　白山　厳
同副会長　西鳥羽　曙
同副会長　鹿野　忠

本部校友会常任委員の推薦

日本大学校友会、常任委員・委員の任期により次の二名を選出し推薦を致しました。任期三年

常任委員　西鳥羽　曙
委員　鹿野　忠

なお、前常任委員並びに副会長としてご尽力頂いた設楽茂雄氏には厚く感謝の意を表する次第である。

大学評議員候補者推薦

寄付行為に基づく評議員改選が行われ、本校友会より候補者として、佐藤弘一氏を選出推薦、なお八月四日の理事会で承認をうけ正式に決定しました。また校友協議員候補として、北川休氏をそれぞれ推薦することに満場一致可決。

30周年記念検討委員会　開催

農獣医学部校友会は昭和五十六年をもって発足三〇年を迎える。八月二十八日に記念事業の検討委員会が開催された。その骨子は、一、名簿の発行、二、学部えの記念品贈呈、三、記念祝賀会（十月を目標）などの事業である。具体的には今後さらに検討し実施される運びである。

なお、農獣医学部も同様に三〇周年を迎え、記念事業委員会が発足、六月八日、学部において開催、委員の委嘱があった。本校友会の会長・副会長に委嘱があり列席した。

会則一部削除変更について

現行会則第十章第二十条「本会則第九条二項の任期は昭和四十九年度選出役員のみ四年とする」は五十三年度に役員任期満了となりましたので、総会で審議された結果、つぎのように一部削除変更されました。

新会則、第二十条を削除し、第十章（補則）、第二十条、「本会則は昭和五十三年七月十五日に一部削除する。」

農獣医学部校友会結成30周年を迎えるにあたり

農獣医学部校友会々長　佐藤　弘一

日本大学農学部と東京獣医畜産大学とが合併して、日本大学農獣医学部として新しく発足したのは昭和二十六年でありました。

そして、昭和五十六年には、満三十年を迎えるわけであります。

三十年というのは、人間でも、自立して、これから仕事の中核となって活躍して行く年でありますが、農獣医学部もこの三十年間に十学科一短大を擁し、卒業生も、一万六千余名をこえ、一つの単科大学としてみても、どこにもひけをとらないほどの成長をとげて参りました。

いわゆる三十年で、充分な基礎固めができたというわけです。

これからは、これを質的に、どうたかめてゆくかということが、大学の発展にとって、主要課題として取り組んでいかなくてはならない問題と考えます。

合併三十年を迎えて、農獣医学部当局では、三十周年の記念事業を計画しており、新校舎の建築資金などを含めて十億円の募金を考えているようです。

校友会としても、今年の総会で記念事業を行うことが決まりました。

云うまでもなく、学部当局の記念事業には、全面的に協力はするが、校友会としては、独自の記念計画を行うことになりました。

三十周年といっても、三年さきのことになりますが、予算措置をともなうことから、校友会各学科代表からなる準備委員会を組織して、そこで具体案を計画することになりました。

準備委員会は第一回目の会合を八月廿八日に開いて、いろいろ討議を致しました。結論が出るまでには、あと何回か会合を重ねなければならないと思いますが、とりあえず次のことを決めました。

祝賀パーティは

昭和五十六年九月から十月までの中で日程を決める。

校友会名簿の発行

名簿は昭和五十年度に会員名簿を発行したが、こんどは、さらに時間をかけて綿密な調査を重ね、完璧を期したいと考えております。

記念事業の規模、詳細はこれから検討していきますが、三十周年記念事業を成功裡に行うことができるよう、会員の皆さんの物心両面にわたる御協力と御支援を心からお願いする次第であります。

農獣医学部藤沢校舎本館の竣工

浅野浩司教授急逝さる

浅野浩司教授（農化一期卒）には去る三月一日、脳出血に倒れ、日大病院に入院、翌二日、午前一時三六分、逝去された。五十三歳。

浅野教授は農芸化学科主任教授、学監（研究担当）、学部総合研究所長、大学評議員など学部および大学の要職をされていた。

校友会では長いこと会計担当として会の発展に尽力を頂いた。

教授のご逝去は学部のみならず大学にとって大きな損失で、校友一同謹んで心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申しあげます。

大阪支部承認

昭和五十二年度の総会で支部規定が定められた。兼ねてより農獣医学部校友会支部としての申請のあった大阪支部が六月十日の理事会にて支部第一号として満場一致可決。同支部の会員数は二百余数名に昇り、今後の活躍が期待される。新会長　倉田裕司（畜産）、連絡事務所・大阪市阿倍野区北畠三の一の一七　倉田裕司内（電話〇六・六六一・九三五六）

日本大学90周年記念事業の計画が検討される

日本大学は昭和五十四年十月四日をもって創立九十周年を迎える。

この長い道程を経た九十年の歩みは、まさに総合大学としての特性と機能を十分に発揮し、着実に前進を続けている。われわれ校友としても限りない母校の発展に心から慶祝するものである。

大学では創立九十周年を迎え、これを契機とし、さらに発展すべく、記念事業が計画されております。その実現に当って大学はもとより、校友・教職員・父兄の賛同のもとに協力一致事にあたるべく現在準備が進められている。その事業として総合センターの建設などが予定されている。建設に当たり九十周年記念事業資金の募金が計画されました。

本部校友会でも現在具体策が検討されておりますので、いずれ会員各位にも協力についての連絡があることと存じます。その節はなにとぞご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

農獣医学部校友会役員

名誉会長	農獣医学部長 小堀　進	
会長 理事	佐藤　弘一	（食経）
副会長 理事	鹿野　忠	（林学）
〃	西鳥羽　曙	（農学）
〃	白山　厳	（畜産）
理事	高橋　文次郎	（農学）
〃	宮浦　敏麿	（農学）
〃	茂沢　昆	（農化）
〃	江刺　琢磨	（農化）
〃	設楽　茂雄	（農化）
〃	恩田　博	（獣医）
〃	山田　民雄	（獣医）
〃	大熊　俊一	（獣医）
〃	野崎　邦興	（畜産）
〃	田島　貞次郎	（畜産）
〃	高坂　鉄雄	（食経）
〃	三木　敏夫	（食経）
〃	上野　嘉昭	（林学）
〃	大川　富士雄	（林学）
〃	柴山　左武郎	（水産）
〃	橋本　市治	（水産）
〃	望月　篤	（水産）
〃	八木　茂	（農工）
〃	一川　宏也	（農工）
〃	辻　厚志	（農工）
〃	中村　清一	（食工）
〃	稗貫　峻	（食工）
〃	青井　幸雄	（食工）
〃	庄川　洋一	（拓殖）
〃	北川　休	（拓殖）
〃	岡田　正男	（拓殖）
〃	天野　六江	（短大）
〃	名取　勝	（短大）
〃	鈴木　明夫	（短大）
監事	山根　勝次	（食経）
〃	戸崎　紘一	（農工）
〃	坂野　忍	（食工）
事務局長	石井　賢治	（農学）
庶務	山口　照雄	（食経）
会計	月瀬　東	（獣医）

いもづる会結成30周年記念式典と祝賀会挙行

分会だより

角笛会

林学科分会

満喜葉会

農学分会

紫友会

桜水会

農業工学分会

農業工学分会

食品工学会

妬友会

むつあい会

創立40周年記念行事挙行

産業別		求人件数	内定者数
A	農業	26	11（ ）
B	林業	3	4（ ）
C	漁業・水産養殖業	3	9（ ）
D	鉱業		（ ）
E	建設業	76	85（ ）
F 製造業	1 食料品・たばこ製造	269	288（14）
	2 繊維製造	5	1（ ）
	3 衣服製造	30	13（ ）
	4 出版印刷製造	84	25（ ）
	5 化学製造	113	98（6）
	6 石油製品・石炭製品	1	（ ）
	7 窯業・鉄鋼	2	（ ）
	8 非鉄金属	1	（ ）
	9 金属製品	13	1（ ）
	10 一般機械	27	3（ ）
	11 電気機械	12	6（ ）
	12 輸送機械	6	（ ）
	13 精密機械	11	4（ ）
	14 その他製造	75	63（3）
G 卸売・小売業	1 卸売業	790	316（17）
	2 小売業	363	149（4）
	3 自動車小売業	375	28（ ）
H 金融・保険業	1 銀行・信託	4	3（ ）
	2 証券業	16	7（ ）
	3 保険業	12	15（ ）
	4 その他金融	26	（ ）
	5 商品取引	50	13（ ）
I	不動産業	39	20（ ）
J 運輸・通信業	1 運輸業	53	4（ ）
	2 通信業	5	（ ）
K	電気・ガス・水道業		3（ ）
L サービス業	1 医療保健	19	14（ ）
	2 法務		（ ）
	3 教育（私立）	14	6（ ）
	4 宗教		（ ）
	5 研究	15	（ ）
	6 観光	41	22（ ）
	7 娯楽	15	（ ）
	8 広告	30	5（ ）
	9 その他	124	50（3）
M 公務	1 国家公務	18	1（ ）
	2 地方公務	203	83（ ）
	3 教育（国公立）	2	4（ ）
N	上記以外		（ ）
O	自営	—	89（8）
合計		2,971	1,443（55）

53年3月31日現在（　）内女子

就職状況について

昭和五十二年度卒業生の就職状況は、校友諸兄の協力により、就職希望者の全員が就職できたことをまず報告する。

数年前からの不況は昨年度も相変らず停滞し、この状況は本年度の卒業生にとっても、又、同様の傾向にある。その上、円高不況も手伝って、就職状況は一段と厳しいものである。

しかし、大企業の採用見合せ、或いは求人人員の減少が多いなかで、中小企業の求人件数の増加は昨年度はこれまでの最高であり、本年度もそれを上廻るのではないかと思われる。

すなわち、求人件数は、四九年度一九九五件、五十年度二〇六一件、五十一年度二二一七件、五十二年度二九七一件と増加しており昨年度は、前年度の七五四件（三四％）増という内容であった。

不況時代の特徴として、学生はますますより安定的な志向を強めており、大企業および公務員などの競争率は激烈をきたし、その間口はますます狭くなりつつある。

このほか、精神的にゆとりができるとか、努力が望んでいるとかということで、地方出身者のUターン現象が昨年度も顕著であったが、本年度もこの傾向はさらに強まるものと思われる。

このような学生の志向に反して就職の決定者は、ほとんど大部分が中小企業で、大企業（株式上場会社及びそれに準ずる会社）への就職者は、わずか一八〇名で全体の一三％にすぎなかった。

従って、この状況をよくふまえて、学生は過去の大学を出ればよいという就職観を捨て、大企業にこだわらず、中堅中小企業への進出を積極的に行なうようにしている。そのためには、各企業の研究・情報などを積極的に得なければならず、本学部も昨年より就職資料室を開設したが、資料室は、今年も夏休み明けより毎日満員という盛況である。

就職はあくまでも学生自身のことであり、自分の責任においてその職業を決定しなければならない。しかし、学部はその手助けをすべく出来る限りの努力をしているが校友諸兄の一段の協力を願う次第である。（学生課）

学部祭のお知らせ

本年の農獣医学部祭（三茶祭）は、「甦れ緑の大地」という統一テーマのもと、一〇月二八日より三〇日までの三日間おこなわれます。

内容は各サークルの学術研究発表会、講演会、音楽祭、各種模擬店など多種です。

学部祭開催期間中は、校友接待室も準備しております。

校友諸兄の御来校をお待ちしております。

農獣医部会が誕生
日本大学校友会神奈川県支部

農獣医部会創立総会

日本大学校友会神奈川県支部が再発足して四年になりますが、支部の中に農獣医部会が誕生しました。

九月十六日（土）横浜中華街の華正楼で創立総会が開催され、来賓として小瀬澄農獣医学部長、松本武雄神奈川県支部長、佐藤弘一農獣医学部校友会長をはじめとして、大学、校友会関係の二十三名の先生方をお迎えし、部会会員一五〇名が出席しました。

総会では、部会会則案審議と新役員の選出が行われました。

懇親会は会場一杯に十八脚の丸テーブルが置かれ、来賓、校友がエレクトーンの演奏の中で、中華料理に舌鼓を打ち、久し振りに会う校友たちの積る話がはずみ、またたく間に定刻になり、中締め挨拶が終っても席を起つ方もなく、八時三〇分に、学部長の発声で、部会員の健康と発展を祈願する万才をもって、盛会裡に散会となりました。

本紙面を借りまして、神奈川県在住の校友の皆様にお詫び申し上げます。

県支部の中で部会設立の話が出てから四回の発起人会が開かれましたが、校友の住所も確実に把握出来得なかったことと、資金面でのこともあり、発起人からの電話による「電話口コミ」で出発し、一五〇〇通しか、案内状を発送出来なかったことをお詫び申し上げますとともに、来年には、幹事一同皆様の住所を調査把握し、案内を出来る限り多く発送致しますので、一名でも多く参加して頂き、友情の輪を拡げてゆきたく思いますので、御出席をお待ちしています。

役員氏名
部会長　佐々木弘康　農学一期
副部会長　鈴木　慶司　農化二期
〃　中島　平三　水産二期
〃　秋元英治　畜産一三期
事務局長　小関　仁　拓殖三期
会計幹事　瀬川　光二　水産一期
〃　梅沢勝正　畜産一九期
監査　吉村　英世　農学四期
〃　高橋　秀行　農学五期
幹事　四〇名
事務局　〒252　藤沢市亀井野一八六六　日本大学農獣医学部内　電話〇四六六—八一—一六二四

昭和53年度日本大学農獣医学部校友会会計予算

（収入の部）

科目	昭和53年度	昭和52年度	増△減	摘要
I）前年度繰越金	2,266,907	1,408,074	858,833	
II）入会金	12,224,000	11,643,000	581,000	
1）1年次	9,910,000	9,595,000	315,000	@5000×1982名
2）2年次	135,000	145,000	△ 10,000	@5000×27名
3）3年次	45,000	1,903,000	△1,858,000	@5000×9名
4）4年次	2,124,000	0	2,124,000	@4期分1000×1688名 @3期分1000×228名 @2期分1000×83名 @1期分2000×62名
III）預金利子	700,000	700,000	0	
IV）その他雑収入	0	0	0	
収入合計	15,190,907	13,751,074	1,439,833	

（支出の部）

科目	昭和53年度	昭和52年度	増△減	摘要
I）分会交付金	7,965,000	6,800,000	1,165,000	
1）1年次	5,946,000	5,757,000	189,000	@3,000×1,982名
2）2年次	81,000	87,000	△ 6,000	@3,000×27名
3）3年次	27,000	956,000	△ 929,000	@3,000×9名
4）4年次	1,911,000	0	1,911,000	@4期分1000×1688名 @3期分500×232名 @2期分500×83名 @1期分1000×62名
II）経常費	2,620,000	2,330,000	290,000	
1）人件費	1,320,000	1,080,000	240,000	アルバイト代@70,000×12 事務局手当@30,000×3 その他アルバイト代 @390,000
2）本部分担金	100,000	100,000	0	
3）事務局運営費	250,000	200,000	50,000	
4）通信費	300,000	300,000	0	
5）会合費	450,000	450,000	0	
6）交際費	200,000	200,000	0	
III）事業費	4,000,000	2,950,000	1,050,000	
1）名簿作成積立金	3,500,000	2,500,000	1,000,000	基金（6,000,000）
2）会報費	350,000	350,000	0	
3）会則委員会運営費	50,000	50,000	0	
4）名簿委員会運営費	50,000	50,000	0	
5）30周年記念事業検討委員会運営費	50,000	0	50,000	
IV）予備費	605,907	1,671,074	△1,065,167	
1）予備費	605,907	1,671,074	△1,065,167	
支出合計	15,190,907	13,751,074	1,439,833	

30年目の集い
旧農学部第一期

旧農学部の第一回卒業生が巣立ってから、今年は丁度三十年目に当る。

満三十年を記念して、旧交を暖め合うために、第一期全員によびかけて、四月二十二日、新宿の三井ビル五五階のマンダリンパレスで同窓会を催した。

遠く宮崎からの来会者もあり、三十余名の参会者があった。

第一期生は、予科生活を通して文字通り、校舎の周辺の開拓からはじめて、大会学舎の開拓を一緒に行った仲間であり、とくに予科時代に教わった先生方に、特別の愛着を感じている。

会合には、予科時代の先生方、浜・石渡・鈴木・松原・岸上・瀬川・饗庭の各先生方が参加され、一同、予科時代の昔にかえって、歓談し、おたがいの無事と健康を誓いあった。

この同窓会は大変喜ばれ、来年からは、年一回四月の第三土曜に定期的に催すことになった。

30周年記念事業検討委員会

委員長　佐藤　弘一
農学分会　宮浦　敏麿
農化分会　茂沢　杲
獣医分会　長尾　壮七
畜産分会　臼山　鋭
食経分会　高坂　鉄雄
林学分会　重野　忠
水産分会　柴山左武郎
農工分会　一川　宏也
食工分会　青井　幸雄
拓殖分会　岡田　正男
短大分会　山本　正義
事務局

広報編集委員会

委員長　西島羽　曙
農学分会　坪木　良雄
農化分会　中島　勝要
獣医分会　稲谷　正
畜産分会　梁水　直人
食経分会　伊予　重記
林学分会　片岡　寛純
水産分会　広瀬　一美
農工分会　青木　正雄
食工分会　陳　志成
拓殖分会　長谷川勝男
短大分会　福原　利男
事務局

名簿作成委員会

委員長　西島羽　曙
農学分会　藤井　秀郎
農化分会　徳山　宏明
獣医分会　大山　健次
畜産分会　塩谷　正勝
食経分会　上野　知道
林学分会　石垣　治郎
水産分会　望月　篤
農工分会　世良田和寛
食工分会　勝川　克代
拓殖分会　権丈　敬次
短大分会　佐々木久男
事務局

大阪支部だより

校友各位には全国各地で、また各方面でご活躍のことと思います。この度、関係各位のご配慮によりまして大阪支部が誕生の運びとなり、六月十日の学部校友会常任幹事会において正式に承認されました。この機会に活動現況を報告するようにとのお勧めを頂きましたので大阪だよりをお届けします。

ここ大阪には古くから、日本大学出身による大阪校友会があり、当学部校友も参加して活動しておりました。最近になって、農獣医学部独自の大阪校友会を設立しようとの気運が高まり、昭和五十年十一月、はじめて「日本大学農獣医学部大阪校友会」が発足したのであります。

11月に定時総会を
親睦・向上図る大阪支部

当校友会の会員数は、この九月末現在、正会員が二二五名です。但し、これには、五十二年度以降の卒業生が、ほとんど入っておりません。近々新しい会員名簿を作成する計画ですので、その際に新卒者を網羅する予定です。

五十二年三月、第一回総会が開催され、会員三十七名が参加、同総会に小瀬澄学部長、校友会会長のご来賓を仰ぎ、会は盛況でした。当面は、会員相互の親睦を中心に活動しようということになり、その後ゴルフコンペ一回、一泊旅行を一回実施。

当学部大阪校友会が発足して以来三年目を迎えようとしている五十三年度は、親睦会の外に講演会なども行なおうとのことから会は益々盛りあがりをみせています。ここで五十三年度に実施した催しと今後の行事を紹介しましょう。

▽三月十八～十九日旅行会　三重県志摩千鳥の和具へ一泊ドライブ旅行。参加者八名。

▽四月二十二日講演会　「和の構造、その考え方」佐藤直美氏（高獣8年卒）を講師に参加者十五名。

▽五月二十一日ゴルフコンペ　花屋敷〇〇吉川コース。参加者十四名。

▽六月二十一～二十二日釣大会　和歌山県湯浅にて参加者九名。

▽七月十五日ビヤパーティー　「世界のビールで乾杯」参加者十一名。

第2回大阪支部総会

▽九月三日ゴルフコンペ　川辺〇〇。参加者八名。

以上九月末までの催しを紹介しましたが、十月以降の予定は次の通りです。

▽十月十八日講演会　鳥羽一郎氏（拓殖18年卒）を講師に「東洋医学による日常の健康管理」。なおこの講演会は、日本大学大阪校友会と合同で開催することになっています。

▽十一月上旬第三回定時総会　五十三年度校友会活動事業報告、五十四年度予算及び事業計画、任期満了による役員改選などを審議。

以上のように、当学部大阪校友会の現況を報告したのでありますが、これからは益々会員相互の親睦と向上を図り、農獣医学部校友会の大阪支部としての役割も充分にはたし、また地域社会における日本大学の名声を高めるよう活動を続けたいと願います。

（倉田裕司）

昭和54年度　日本大学農獣医学部・短期大学部農業科　入試科目

農獣医学部（農学・農芸化学・畜産・林学・水産各学科）短大農業科	国語・数学　「現代国語・古典I乙」；数学Iの2科目から1科目選択 理　科—物理I，化学I，生物Iの3科目から1科目選択 外国語—英語B
農獣医学部（獣医学科）	数　学—数学I 理　科—物理I，化学I，生物Iの3科目から2科目選択 外国語—英語B
農獣医学部（食品経済・拓殖各学科）	国　語—現代国語・古典I乙 社会・理科　倫理社会，政治経済，日本史，物理I，化学I，生物Iの6科目から1科目選択 外国語—英語B
農獣医学部（農業工学・食品工学各学科）	数　学—数学I 理　科—物理I，化学I，生物Iの3科目から1科目選択 外国語—英語B

入試期日

農獣医学部（昼）　獣医　2月20・21日（火・水）

農学・農芸化学・畜産・食品経済・林学・水産・農業工学・食品工学・拓殖　2月22日（木）

短期大学部　農業科　3月1日（木）

※入試関係についての照会は
（〒101）東京都千代田区西神田2－6－16
日本大学入試事務室へ